

例会報告

第2436回例会報告議事録

日時 28年6月28日(火曜日)

場所 川村学園女子大学 我孫子キャンパス内 会議室

時間 12:15点鐘

ロータリーソング「手に手つないで」

ビジター：なし

ゲスト：なし

S.A.A.:高島会員

会長挨拶

瀧日会長



今日は会長としての例会は最後で、事実上、私の任期は終わります。皆様のご協力のおかげで、なんとか無事に職務を全う出来ました。心からお礼申し上げます。

2年半くらい前に、上村文明会長の後のノミネーが決まらず、理事会ですったもんだしていました。私は井上先生に継いで二番目の長老でしたから、会長なんて他人事だと思っていました。が、亡くなった野田さんに「私が幹事をやりますから会長やりましょうよ」と言われ、びっくりしました。その言葉に少し心を動かされて決まってしまう。「困った時の瀧日さん」なんて変な標語を作ったり、野田さんは人を乗せるのがうまい人でした。

一番最初にこたえたのは、野田さんが入院してしまったことです。本当に残念な結果になりました。誰かに幹事をやってもらわないといけなくて、いろんな人に相談しました。丸田さんが候補にあがったのですが、彼はその時、ガバナー補佐幹事をやっていた。その前には私のガバナー補佐幹事もやっていた。藁にも縋る気持ちで電話をしたら、すぐ承諾してくれました。これは本当にありがたかったです。改めてお礼申し上げます。本当にありがとうございました。

当面の課題が2つあり、台湾の55周年記念例会への参加、そして我々の50周年記念式典でした。台湾への参加は最悪の場合は家内と2人で参加しようと思っていたのですが、米田姉妹クラブ委員長にお願いして結局9名参加しました。米田さん、ありがとうございました。

記念式典も結構すったもんだありました。最初は星野さんが実行委員長だったのですが、病気になられて退会され、後任に上村晃一会員にお願いしたのですが、会場の件で紛糾しました。我孫子には正式な晩餐会をやる場所がなく、柏クレストでやるしかないという意見が大半だったのですが、上村さんはなんとしても我孫子でとおっしゃり、最終的には実行委員長を退任されました。

困って、松本さんに電話したところ、実行委員長を引き受けてくださいました。ただし実務的なことは副委員長の小池さんにしきっていただきました。実行委員の皆さんも、かなり自分の時間を犠牲にして努力をしてくださったと思います。

ウェルカムパーティーを白ばらにして屋外でできたのも良かったと思います。天気も味方してくれました。

周年式典でいっぱいになってしまい、社会奉仕活動ができなかったのが残念でしたが、依田会員が話を持ってきてくれた、流山の支援学校への寄付金の贈呈ができたのはよかったです。ぜひ、鈴木年度で何か社会奉仕活動ができたらと思います。

本当に皆さん、ありがとうございました。

瀧日会長より丸田幹事へ花束贈呈

7月5日の会長幹事の新旧交代式に丸田幹事が出席できないということですので、この席を借りまして幹事の労に報いる意味で花輪を贈呈いたします。



親睦委員会報告

村越会員(代理)

本日は親睦委員会報告は特にございません。

出席報告

渡邊委員長

17名出席(全員で24名) 出席率70.8%

会員増強委員会報告

村越委員長



今年度は残念なことながら1名も会員増強ができなかったのですが、途中から会員増強カードというのを配らせていただきまして、何人かお名前を挙げていただき、引き続き交渉中です。ぜひ来年度、小池委員長の年にメンバーを増やしていければと思います。

地区幹事について

鈴木次年度会長



寺嶋年度の時の地区幹事の要請が来ています。我こそはという方がいらっしゃいましたら、ぜひおっしゃっていただければと思います。どなたもいらっしゃらないようでしたら、こちらの方からお願いすることになると思います。

卓話「漫画で読み解く損保業界」

服部会員



皆様のご協力のおかげをもちまして、一年間の卓話が無事終了いたします。ありがとうございました。

今日は、漫画で読み解く損保業界、ということで漫画のコピーをお配りしました。それは私が描いたものです。「損保のなかま」という月刊紙に30年くらい前から毎月1回4コマ漫画を描いています。

私は昭和47年に大東京火災という今はなき保険会社に入社して、29年勤めて退職しました。私が退職した翌日に6社の保険会社が合併しました。それ以降、合併が相次ぎ、看板から名前がはみ出しそうな保険会社がいくつも出来ました。保険業界は1990年代から激変が起きました。

年表を作りました。

今から22年前の1994年にアメリカ大統領より日本の保険マーケットをアメリカに開放せよという要求があり、日米保険協議がなされました。毎年協議を行い、1996年に協議が終了しました。その間、日本国内では保険審議会答申というのが何度か出され、96年に保険業法が改正されました。従来兼業ができなかった生保と損保が子会社方式で参入するとか、自動車保険、火災保険は独禁法の除外種目で全社同じ保険料率でやっていたのですが、独禁法除外から自由競争になりました。そういう流れの中で保険会社の合併が相次ぎました。

自由化になるとこういう風になるという漫画を描きました。

「自由化になるとどうなるか」「リスク細分化爆弾の攻撃です」

従来、日本の自動車保険は年齢条件だけでした。リスク細分化保険というのは走行距離等のリスク要因が入っている保険です。今、アクサ、チューリッヒ、ソニー損保等がその保険を扱っています。

「第三分野が敵に占領されました」

第一分野は生保、第二分野は損保、どちらでも扱えそうで、どちらでもないのが第三分野で、一番有名なのががん保険です。以前からアフラックががん保険を売っていて、日本は第三分野が扱えませんでした。

自由化になると売れる商品を作ったもの勝ちになります。

左側に行って、ムーディーズが「戦況はどうだ？」

今日、イギリスの国債が2段階引き下げになりました。格付けについては、調査が来た時には十分な武器弾薬(資産)がたっぷりあると答えましょうと。

「値下げ砲弾」の撃ち合いでお互いに疲弊します。

自由化になってから、2001年だったか、初めて損保が破綻しました。自由化で持久戦になり、新しい商品ができて戦おう、という時には社員は腹が減って戦えない、というのが自由化の姿なのかなと思ひ、このような漫画を描きました。

銀行さんで保険の窓口販売が行われていますが、92年の保険審議会答申にさかのぼります。銀行信託証券業務への参入も認められました。

1994年は保険業界にとって激動の年でした。第2回目の保険審議会答申の出た年でした。

自由化が行き過ぎると、差別型(リスク細分型)商品に入れられない加入者が続出しました。自動車保険に入れられない人も困りますが、入れなかった無保険の車にひかれた人も困ります。

新保険開発戦争が自由化後にすぐ始まりました。保険金無払い問題が一時期問題になりました。新商品に対する理解が社内でも行き届かず、特約で支払わなければならないものを支払っていなかったケースが多くありました。一番代表的なのが、会社が指定した工場に入庫した場合は5000円保険金を上乗せしますというものです。不払いは自由化による商品開発競争の結果だと思ひます。

新商品を作ったけれど1件も売れなかったという事もたくさんあります。スキー場天候保険というのを作り、NHKが取材に来て私がテレビに出た事があるのですが、それは1件も売れませんでした。ありがとうございました。

幹事報告

丸田幹事



今年最後の幹事報告をさせていただきます。本当にありがとうございました。

- ・7月のロータリーレート 1ドル=106円
- ・訃報 1986-1987年のパストガバナー 黒田実様

ニコニコBOX

お名前	メッセージ	金額
瀧日会長	1年間、御協力ありがとうございました。おかげさまで、会長任務を全うできました。	10,000円
今井会員	私のゴルフコンペ「勝えい会」が盛会の内に終了できました。ありがとうございました。	2,000円
鈴木会員	一年間ありがとうございました！！	1,000円
塩毛会員	丸田さんに乾杯！！	1,000円
高島会員	SAAとして1年間ありがとうございました。	1,000円
服部会員	卓話させていただきました。	1,000円
村越会員	瀧日会長、お疲れ様でした。	1,000円
当日計		17,000円
今期累計		448,000円

閉会の言葉

瀧日会長

服部会員にこういう才能があるんですね。週報に連載してもらいましょう。次年度、考えてください。ありがとうございました。

今週の表紙「廣幡八幡宮」 千葉県柏市増尾895番地

ニッカウキスキー柏工場のすぐそばにある、通称「はちまんさま」と地元で親しまれている神社です。創建は第59代宇田天皇の御代(887~897年)「下総国第一鎮守宇田天皇勅願所」と伝えられています。住宅街にありながら鳥居をくぐると空気が一変し、厳かで神聖な雰囲気になる由緒ある神社です。境内神社として大杉神社が祀られています。

ロータリーの友事務局 ホームページ www.rotary-no-tomo.jp メールは web@rotary-no-tomo.jp

環境NPOオフィス町内会が中心となって2005年に立ち上げた新たな間伐促進活動が「森の町内会」です。この活動に賛同して「印刷用紙」や「コピー用紙」を使用する企業は2009年9月現在、92社にのぼり、その環境貢献として促進される岩手県岩泉町・葛巻町・青森県三沢市での間伐は、年間30haの規模になっています。グリーン購入大賞で大賞を、山村カコンクールで林野庁長官賞を受賞しています。



この印刷物に使用している用紙は、森を元気にするための間伐と間伐材の有効活用に役立ちます。

我孫子ロータリークラブは、環境貢献として、「森の町内会」を応援します。